

Google Earth 連動 2カメラ型ドライブレコーダー 操作説明書

特徴

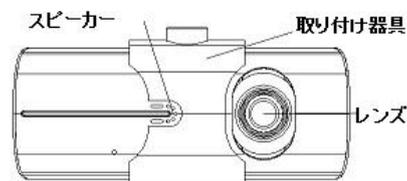
- ◎ GPS 運転記録 GOOGLE 連動
 - ◎ 2カメラ搭載低照度対応センサー採用
 - ◎ エンジンスタートで録画開始
 - ◎ Gセンサー（衝撃）3軸、ビデオ録画、地図情報の時系列連動記録が表示可能
 - ◎ 衝撃データロック機能
- 使用する前にお読み下さい。

1. 準備

1) 機器の取り付け

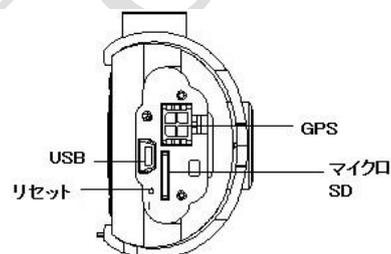
取り付け器具の吸盤をガラスへ吸着させ機器を固定ください。
GPS センサーを接続し電波を拾いやすい場所にセンサー部分を両面テープで固定ください。
GPS 受信中は画面に“GPS”が表示されますのでご確認ください。
レンズを録画に最適な位置に調整下さい。

- (※1) 出荷時には LCD 表面は保護シートでカバーされていますので、剥がしてご使用ください。
- (※2) GPS 電波が弱い場所では GPS 受信できるまでしばらくお待ちください。



2) 外部マイクロカードの挿入

マイクロカードスロットへカードの金属端子を LCD 側に向け挿入してください。
カードの取出しは再度カードを押すと出てきます。
カードは本機器でのフォーマットが必要な為、最初の挿入時に初期化されます。(4GB~32GB 対応)
(※3) マイクロ SD カードはパソコンの USB と接続時、リムーバブルディスクとしては認識されません。



3) 電源の接続

カーシガー電源アダプター又は USB ケーブルを USB に差し電源を接続して使用ください。
(電池のみの動作時間は LCD 動作時、LED 点灯時により大きく差があります。)
(※4) 使用言語はシステム設定で言語選択を行い、日本語にして下さい
(※5) 機器の内蔵電池で録画する時は必ず 2 時間~3 時間以上の充電後使用してください。又使用初期 5 回位はバッテリーの安定化の為、通常より 2 時間程度余分に充電してお使い下さい。

2. 基本操作方法

1) 電源 ON/OFF

スタートキーを押すと電源 ON となり自動的に録画を開始します。
スタートキーを長押しすると、録画中のファイルを保存後電源が切れます。
外部電源の ON/OFF 制御により、スタートキーと同等の動きをさせることも可能です。

2) モード(ビデオ録画、再生)

動作にはビデオ録画、再生の2つのモードがあり、モードキーで変わります。

3) カメラ切替

スタートキーを短く押すとカメラ表示が切り替わります。(2カメラ使用時)

4) ビデオ録画

OK キーで録画 (LCD 左上に“REC”表示) と録画停止を行えます。
古いビデオ録画データは自動的に削除されます。

<録画中操作>

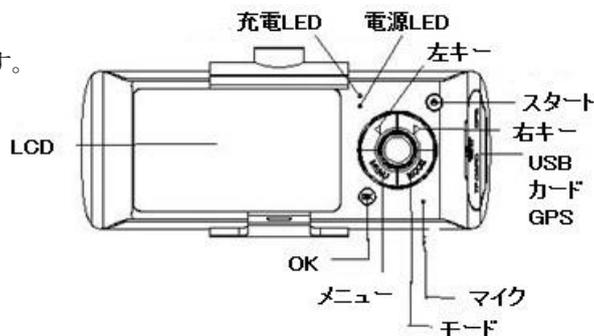
- ・右キーを押すとファイルロックされます。ファイルロックすると録画データは自動削除されません。
- ・G センサーで衝撃を検知すると、自動的にファイルロックされます。
- ・左キーを押すと音声録音の有無を選択できます。

<カーシガー電源アダプターを接続した場合>

エンジンスタート、ストップによりカーシガー電源が ON/OFF する為、連動して自動的にビデオ録画を開始・終了させることができます。

5) 再生

“再生スタンバイ状態”で右キー/左キーを押すと記録したデータを選択できます。
OK キーを押すと記録したビデオを再生/停止します。



3. 設定

1) 初期設定方法

ビデオ録画のスタンバイ状態で MENU キーを押すとそれぞれの初期設定ができます。

右キー/左キーで項目を移動し OK キーで項目を選択後、右キー/左キーで項目内容を移動し OK キーで項目内容を確定します。MENU を押すとビデオ録画のスタンバイ状態に戻ります。

2) 設定値

- 記録モード .. CH1&CH2、CH1 のみ、CH2 のみ (フロントカメラ、リアカメラ選択)
 - 日付時刻 .. 日時移動は OK キーで行います。
 - カードの初期化 .. はい/いいえ
 - ビデオ出力方式 .. NTSC/PAL (無効)
 - 電子音 .. 入/切
 - マイク .. 入/切
 - 言語 .. English/簡体中文/繁体中文/日本語/韓国語/ロシア語/ドイツ語
 - 液晶デフォルト .. 入/切 (液晶表示方法、切=自動 OFF)
 - G-センサーの感度 .. 低/一般/高/無効 (重力センサー感度、衝撃を検知したときファイルをロックします)
 - 電源周波数 .. 50Hz/60Hz (照明との同期設定)
 - 振動検出 .. 入/切 (振動を検出し録画を開始します。駐車時の異常監視に利用できます。)
振動又は衝撃を検出すると約30秒録画をします。(G センサーを検知状態にしておいて下さい)
- 初期設定に戻す .. デフォルト設定に戻します

4. パソコン操作方法

1) パソコンでの再生

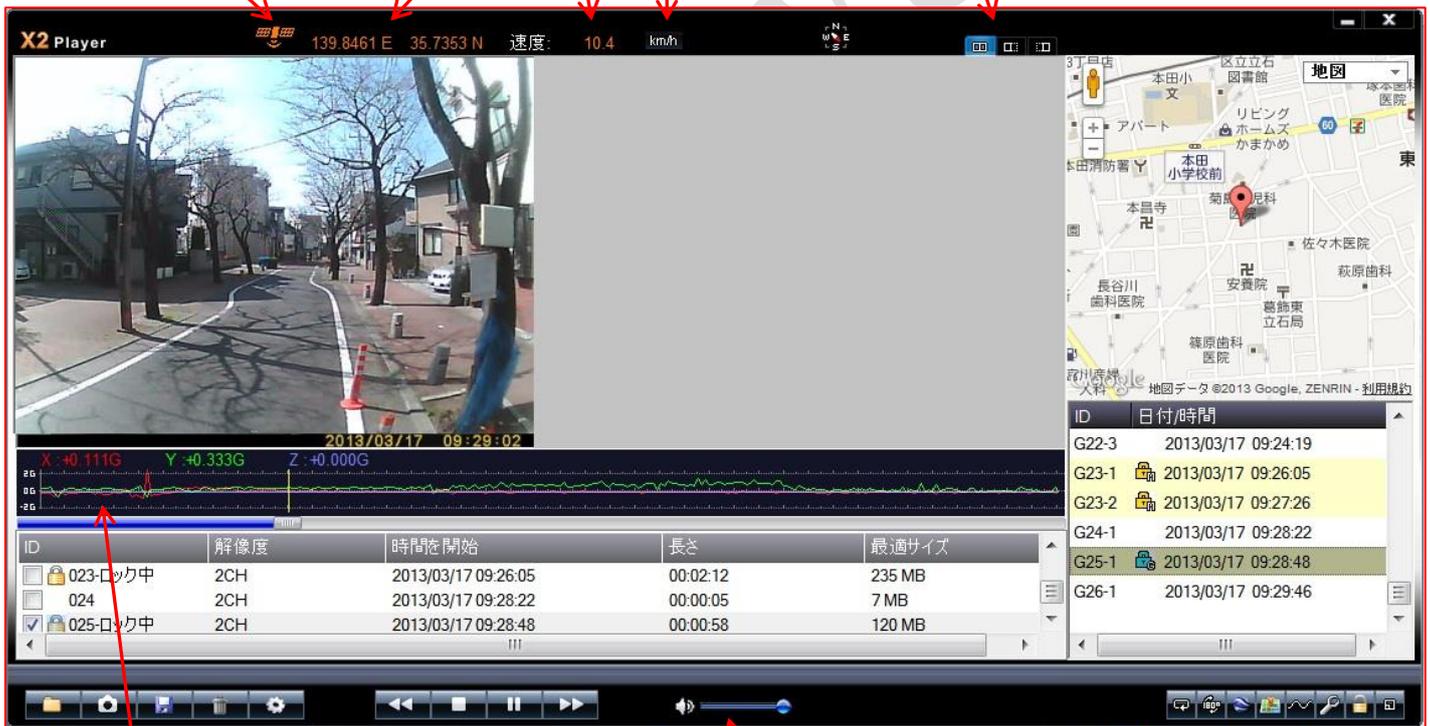
マイクロ SD カードには X2Player がフォーマット時に作成され、このアプリケーションにより録画データにアクセスできます。マイクロ SD カードのフォルダー操作では参照はできません。



マイクロ SD カード上の X2Player を起動すると下記のような画面が出ます。

<上段表示>

GPS 記録時表示 緯度経度表示 速度表示 (Km/mile 切替) カメラ表示切替



G センサー3 軸記録

ビデオ再生コントロール

音量調整

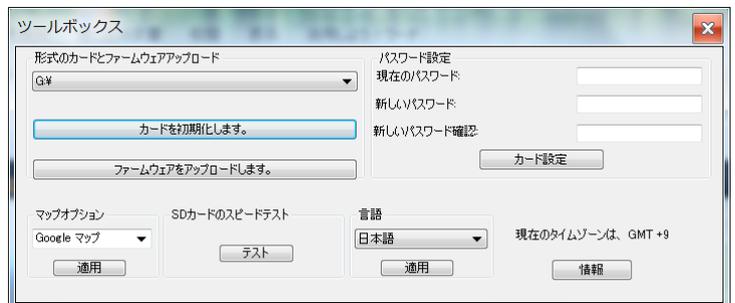
<ビデオ録画表示>

中段にて録画したビデオを再生できます。また G センサーの時系列記録も表示できます。

コントロールボタン



- オープン .. アクセスする録画データを指定します。
- スナップショット .. 現在のビデオ画面を JPG データで保存します。
- セーブ .. ビデオデータを保存します。
- 削除 .. チェックボックスで選択したデータを削除します。
- 設定 .. 右画面で各種設定を行えます。



<地図表示>

右側にて地図と連動した運行記録を見ることができます。

下段で選択した経路情報ファイルを選択すると、ビデオ、G センサー、地図の時系列情報を見ることができます。

地図は拡大縮小、地図/航空写真が可能で GOOGLE MAP と連動します。

地図コントロールボタン

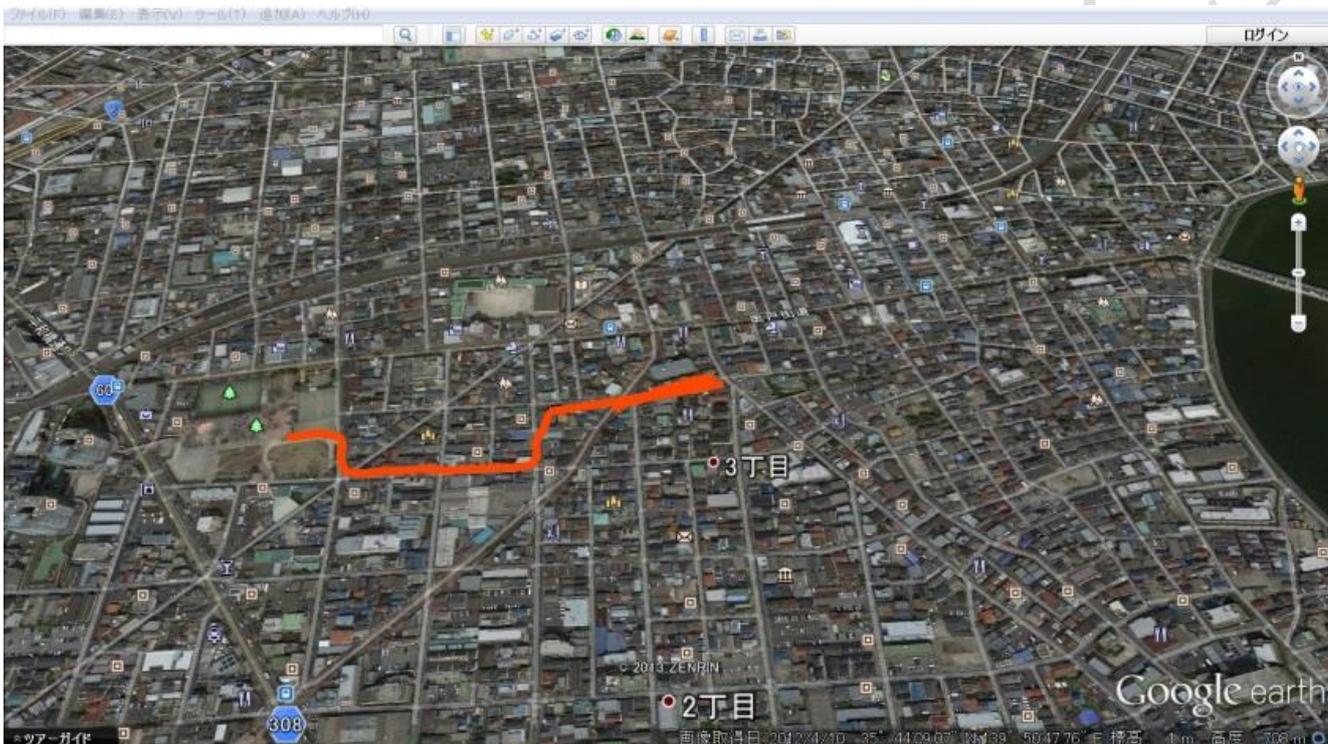


- 繰り返し ON .. ビデオデータを繰り返し再生します。
- 回転180° .. ビデオ表示を反転します。
- KML .. 位置情報ファイルを出力します。
- 地図 .. 地図の表示を ON/OFF します。
- G センサー .. G センサー時系列表示を ON/OFF します。
- ビデオリペア .. 破損したビデオデータの復旧を試行します。
- アンロック .. ロックされたビデオデータをロック解除します。
- 画面表示 .. 画面サイズの大/小切替を行います。



2) Google Earth 連動

出力した位置情報 (KML) ファイルを Google Earth で読み込むことにより、運行ルートを確認できます。



5.異常処理

- 1) 動作がおかしくなった場合、リセット穴をクリップの先端等で押してリセット処理をして下さい。
機器がリセットされ初期動作可能な状態に復帰する場合があります。
また本体の内蔵電池が充電されているか確認後、充電されていない場合は充電してください。
- 2) メモリーカードのメモリー残量が少なくなると、記録された古いファイルを削除して記録していきますので古いファイルで保存必要な録画記録はあらかじめ別の媒体にコピーしておいて下さい。

6.よくあるトラブル

- ・録画出来ない。画面表示しない・充電操作を行ってください。
- ・充電中パソコンの USB ポートが有効であるかどうか、パソコンの省電力設定で電源が供給されない設定になっていないことをお確かめ下さい。

7.仕様 *仕様は予告なく変更される場合があります。*

(同梱物) 本体, 取り付け器具, カーシガー電源アダプター, GPS センサー、取り扱い説明書(マイクロ SD カードは付属していません)

| | | | |
|----------|-------------------|--------|---------------------|
| 撮影画角(対角) | フロント 90 度、リア 60 度 | GPS 情報 | kml ファイル出力 |
| ビデオ録画 | VGA ,2 画面同時記録 | | |
| 液晶モニター | 2.7 インチ TFT | 運行記録 | GPS 位置、衝撃 3 軸、ビデオ同期 |
| メモリーカード | SD カード 4GB~32GB | 入力 | DC5V, 500mA |
| 重量 | 本体 約 120g | サイズ | 125*45*35 mm |

8.サポート

一般注意事項・サポート要項はホームページを参照ください。
サポートはメールで対応しています。 support@broadwatch.jp

www.broadwatch.jp

株式会社ブロードウォッチ
BROADWATCH 堺センター 〒590-0961 大阪府堺市堺区寺地町西 3 丁 1-7